

平成21年度大阪湾圏域における海域環境の再生・創造に係る研究の助成事業成果発表会

1 趣旨

大阪湾広域臨海環境整備センターが、公益事業の一環として、大学等の研究機関における研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域における海域環境の再生・創造に寄与をする事業で、平成21年助成対象者がその研究成果を発表する。

2 日時

平成22年7月29日（木）午後1時から5時まで

3 場所

三宮研修センター 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目2番12号
TEL：078（232）0081 FAX：078（232）0091

4 主催・協賛

共催：大阪湾広域臨海環境整備センター、瀬戸内海研究会議
協賛：社団法人瀬戸内海環境保全協会

5 お申込・お問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター東館5階
(社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL：078-241-7720

FAX：078-241-7730

<http://www.seto.or.jp/kenkyu/>

E-mail：web@seto.or.jp



三宮駅（神戸高速鉄道、阪急神戸本線、阪神本線、神戸市営地下鉄西神・山手線、神戸新交通ポートライナー）5分
三ノ宮駅（JR東海道本線、JR神戸線）5分
三ノ宮駅から地下道を利用してご来館されることも可能です（神戸市役所方面の〔C5〕出口）。

JR・阪神・阪急の三宮駅

- 三ノ宮駅中央改札口からフラワーロードを南へ徒歩
- 車でお越しの際は、阪神高速[京橋]インターを出て北向き三宮方面へ約3分

● 開会

あいさつ・フェニックスセンターの紹介
大阪湾広域臨海環境整備センター

● 発表

大阪湾の植物プランクトンの季節変動とその要因	香川大学農学部	多田 邦尚
放射性同位元素を用いた地下水湧出量・栄養塩負荷量の定量と大阪湾内の滞留時間の評価	長崎大学水産学部 海洋資源動態科学講座	梅澤 有
海産バイオマスのメタン発酵および堆肥化技術の開発	大阪府立大学大学院 工学研究科	大塚 耕司
港湾等の強閉鎖性水域の水環境再生・創造技術の開発 —特に貧酸素水塊・青潮対策について—	奈良教育大学教育学部	藤井 智康
東部瀬戸内海における栄養塩環境の順応的管理手法に関する研究	大阪府環境農林水産総合 研究所水産研究部	中嶋 昌紀
	兵庫県立農林水産技術総合 センター水産技術センター	原田 和弘
閉鎖性水域に取り残された自然砂浜の地形変化に及ぼす航走波の影響	神戸市立工業高等専門学校 都市工学科	宇野 宏司
廃水、廃棄物における有機フッ素化合物（PFCs）の分析及び大阪湾圏域への環境負荷低減処理に関する調査研究	(財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	吉田光方子
大阪湾への地下水による栄養塩流出とその長期変動に関する評価	広島大学大学院 総合科学研究科	小野寺真一
新たに造成される浅場の機能評価モデルの開発に向けた底質劣化に関する研究	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻	入江 政安
大阪湾御前浜の生物生息環境に海底地下水湧出が及ぼす影響	琉球大学農学部 地域農業工学科	安元 純
大阪湾圏の浅海域成育場が魚類生産に果たす役割の定量評価：広域調査による空間変動解析	広島大学大学院生物圏科学研究科瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原水産実験所	小路 淳
分布型水文流出モデルを用いた播磨灘に流入する淡水流入量の推定に関する研究	香川大学工学部	石塚 正秀

● 講評

選考委員会委員長 柳 哲雄

● 閉会

瀬戸内海研究会議

参加申込書

○ご記入のうえ瀬戸内海研究会議事務局（FAX：078-241-7730 / E-mail：web@seto.or.jp）に7月20日（火）までにお申込み下さい。（参加証は発行しませんので、お申し込みのうえ当日会場にお越し下さい。）

フリガナ 氏名	所属	住所	TEL / FAX
		〒	TEL : FAX :
		〒	TEL : FAX :
		〒	TEL : FAX :

※ご提出いただいた個人情報は本事業に関するご連絡のほか、当会議主催事業の情報発信の目的で使用する場合があることをご了承下さい。